

平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 103

千葉県立一宮商業高等学校 全日制の課程 商業・情報処理科

1 期待する生徒像

人物に優れ、本校を志望する動機及び理由が明確で、学業に熱心に取り組む意思があり、次のア、イのいずれかの要件を十分に満たす者

ア 学校生活全般にわたり、真面目に取り組む、上位の資格取得等にチャレンジする意欲があること。

イ 部活動等において積極的に取り組み、優れた実績又は素質を有し、入学後もその活動を継続する意思があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 自己表現	口頭による自己表現 日本語による自己アピール及びそれに関する質疑 実施形態：個人で発表 検査時間：5分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値に、ウ～オについて加点（上限65点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科のある場合は、審議の対象とする。
イ 総合的な学習の時間の記録	総合的に判定する際の参考とする。
ウ 出欠の記録	3か年皆勤等、出席状況が良好である場合は加点する。 3か年の欠席が30日以上である場合は、審議の対象とする。
エ 行動の記録	行動の記録の○の数により加点する。 行動の記録の○の数が1以下の場合、審議の対象とする。
オ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
カ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 自己表現〔100点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（非常に優れている）、b（優れている）、c（標準）、d（やや問題がある）、e（問題がある）の5段階で評価する。

（ア）については、aを20点、bを15点、cを10点、dを5点、eを1点、（イ）から（エ）については、aを10点、bを7点、cを5点、dを3点、eを1点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し、得点化する。評価eが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
（ア） 志望理由	本校を選んだ理由（志望動機）が明確である。
（イ） 内容	発表内容が優れており、まとまっている。 また、発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。
（ウ） 表現力	明瞭かつ正しい言葉遣いで話している。 自分の思いや考えをわかりやすく工夫して話している。
（エ） 態度・人物	基本的な礼儀作法を身につけ、身だしなみ等が整えられている。 発表等において、誠実な態度で自己を表現している。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加 点	自己表現	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	65点	100点	$(800 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95点
 m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業生については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。